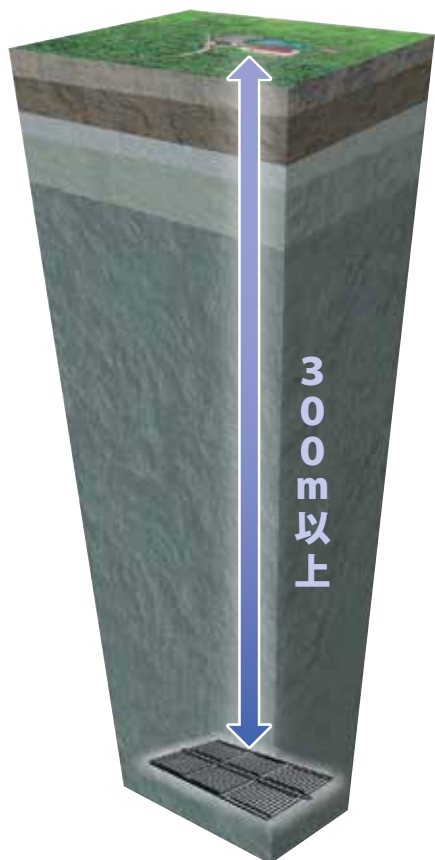


将来に先送りせず、高レベル放射性廃棄物の地層処分に向けて着実に取り組む必要があります

原子力発電に伴い生じる高レベル放射性廃棄物の処分については、様々な方法が検討された結果、地層処分が国際社会から現時点で最も適切で実現可能な処分方法とされています



▶ 地層処分の特徴

地層処分は、物質を長期にわたり閉じ込め、生活環境から隔離するという優れた特徴を利用した処分方法です。

① 物質を閉じ込める機能

- 酸素が少ないため、金属ではサビの進行が非常に遅く、物質が地下水に溶けにくいなど、ものが変化しにくい
- 地下水の流れが遅いので、ものの動きが非常に遅い

② 物質を隔離する機能

- 人間の活動や地上の自然環境の影響を受けにくい



原子力発電環境整備機構 (NUMO)

<https://www.numo.or.jp>

NUMO

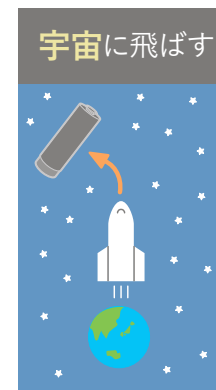


地層処分について
詳しく動画で解説しています

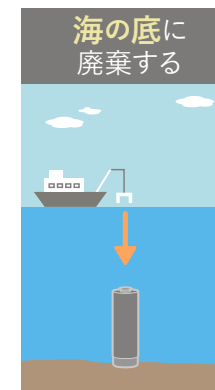


▶ 地層処分以外に検討された方法

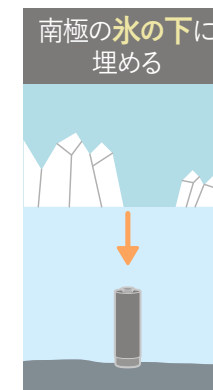
高レベル放射性廃棄物は、数万年以上にわたって放射能が残るため、人間による直接の管理を必要としない最終処分を行うべきであるとの考えから、日本で原子力発電を始める以前より、様々な方法が国際機関や世界各国で検討されてきました。



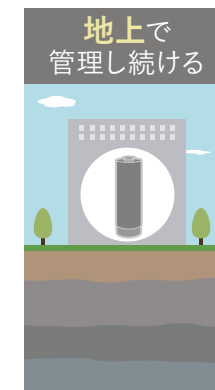
発射技術の信頼性に問題がある。



廃棄物などの海洋投棄を規制しているロンドン条約により禁止。



南極条約により禁止。氷床の特性等の解明が不十分。



自然災害、戦争などの影響、将来への負担などがある。